

# 教会短信

牧師 間瀬 善彦

「親分はイエス様」という映画を観たことがあります。元ヤクザだった人たちがイエス様を救い主と信じて、人生をやり直す決心ができたという内容です。これは実話に基づいて製作された映画です。元ヤクザだった人たちは、組を抜けるために命を狙われるという大変な体験をします。今までの人生をやり直したいと固く決心し、回りの人びとの手助けを借りながら人生をやり直していくのです。

最近、死刑囚の死刑執行のニュースがありました。死刑制度を存続することについては、賛否の意見があります。あなたはどちらでしょうか。凶悪犯罪が増えて、死刑判決を受ける人が多くなりました。死刑囚の人数が百人近くになったそうです。凶悪犯罪が多くなると、死刑制度存続賛成の人がどうしても増えてくるのです。

聖書の言葉に、天の神は、「悪人にも善人にも太陽を昇らせ、正しい者にも正しくない者にも雨を降らせてくださる」(マタイ5:45)とあります。神から見たら、人間はすべて愛すべき者であり、命の重さは同じです。なかには、悪の道に迷い込んでしまう人もいますが、神は悔い改めて立ち直ってもらいたいと考えているのです。人間は皆、心の中に自己中心という罪を持っています。そこから、犯罪が芽生えてきます。法律を犯す罪だけが裁かれるというのは、本来おかしいことです。もし裁かなければならないとしたら、わたしたちの自己中心の罪こそが裁かれなければならないのではないのでしょうか。

神はわたしたちの罪を清めるために、神の御子イエスをこの世に遣わしてくださいました。そして、わたしたちの身代わりに罪の裁きとして十字架につけて殺されたのです。それだけではありません。イエスを3日目に復活させられることによって、罪と死に打ち勝たれた新しい命を与えられたのです。だれでも、人生をやり直したいと願う者は、罪と死に打ち勝たれたイエスを信じるだけで、人生をやり直すことができるのです。あなたは今の自分の人生、生き方に満足しているでしょうか。

\* イースター礼拝 \*

・ 4月8日(日)

・ 午前10時30分～

\* バザー \*

・ 4月22日(日)

・ 午後1時～3時

## 四季抄 風の旅

よろこびが集まったよりも  
悲しみが集まった方が  
しあわせに近いような気がする

強いものが集まったよりも  
弱いものが集まった方が  
真実に近いような気がする

しあわせが集まったよりも  
ふしあわせが集まった方が  
愛に近いような気がする

(星野 富弘)

この詩を読みながら、私は幼い日のことを思い出した。強者とは幸せな者、弱者とは不幸せな者という図式がいつのまにか私たちの頭の中に出来上がっている。しかし、本当にそうだろうか？

なんらかの理由で絶望的な状況に陥ってしまった弱者たちは、今日をまず無事に乗り切ろうと必死に努力する。乗り切れたとき喜びに満たされる。明日は？ 明日のことは神様にすべてを委ねて真剣に祈る。そのとき、人は、強者よりもずっと神様の近くにいると思う。お互いに苦しみや悲しみがよく理解出来るので励ましあい、助け合う。このとき、人はいつの間にか利己心から解放されている。

第二次大戦中、食料不足の時、夕食は大人の握り拳ほどのじゃがいもを親子4人で分けて食べることになった。父が自分の分からさらに少し切りとり、男の子に与えた。母が同じことをして女の子に与えた。父と母は目を輝かしやさしく微笑んでいた。私たち姉弟はとても幸せだった。 T. K.



## イースター(復活祭)を迎える心

今年もまた、イースター(復活祭)がやって来る。キリスト教のキリスト教たる所以の日、キリスト教世界の最も輝ける日、“復活の日”が間近だ。4月8日の主日礼拝の日がその日になる。

キリスト教最古の、そして、最大のイベントの日である。

ある牧師は言われた、「イエス・キリストの十字架と復活を信じない者は、たとえバプテスマを受けた人であっても、真のキリスト教徒ではない」と。

要するに、イースターとは最も大切な、そして、最大の奇蹟を祝す記念の日なのである。昨年(短信8号)にも書いたが、春分の日よりあとの満月に続く日曜日(主の日)が、この日となり、イースターに先立つ40日を四旬節(レント)、その他の1週間を聖週間という。クリスマス・イヴにサンタがトナカイの引く雪橇に乗って来ると思われる北欧に近い国では、イースターの日から遊園地・公園・競技場等のレクリエーション施設がオープンすると聴く。

「教会では、キリストの受難を記念する典礼が行われ、イエスの復活が早朝の出来事と伝えられることから、早朝ミサや聖餐式が行われ、美しく彩色された卵が信者に配られる」と、ものの本には書かれてある。

わが経堂バプテスト教会においても、イースター礼拝を行うことは勿論である。

罪なき神の子イエスが、罪多き人間の身代わりとして、十字架の刑という責め苦にあわれ命を落す、これが永遠の死であるならば、現在のキリスト教は存在しなかったであろう。が、墓地へ移されてから3日の後、復活する。それが奇蹟であり、真実の神たるキリスト・イエスの姿なのである。この奇蹟は神のなせるわざ、だからこそ、キリスト教が世界最大の信者を持ち、神の愛を根源とした宗教として、今日に至り、聖書を通して神のみ言葉があり、戒めがあり、慈しみがあ、何よりも救世主イエスの愛があり、それが生きる指針、羅針盤となるのである。

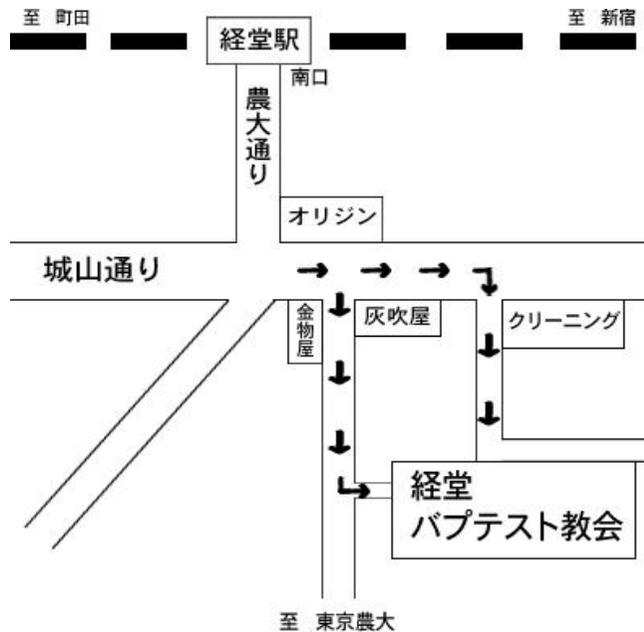
イースター礼拝で祈り、聖書を通して神のみ言葉を学び、教会学校でお互いに分ち合いをし、彩色の美しい卵を頂く。キリスト教の祝宴・儀式は宴会ではない、シンプルにして厳肅、すべて神の示す人間の根底の愛に根ざしたものである。

これが、偽らざるイースターを中心とする教会の姿である。1人でも多くの信仰の友を、そして、バプテスマを受け信徒となられる兄弟姉妹を待望している。

イースターこそ、教会へのチャンスであると思う。

# 集会案内

主日礼拝	日曜日	午前 10時30分～11時30分
教会学校	日曜日	午前 11時45分～12時30分
青年科・成人科		
聖書を学ぶ会	火曜日	午後 1時 ～ 2時
聖書研究・祈禱会	水曜日	午後 7時30分～8時30分
英語教室 (英文法)	火曜日	午後 7時30分～9時
(英会話)	金曜日	午後 7時 ～ 8時30分



## 経堂バプテスト教会

牧師 間瀬 善彦

〒156-0053 世田谷区桜1-64-30

TEL 03-3426-0071

当教会は、エホバの証人、モルモン教、統一協会とは一切関係ありません。